

9 SRSエアバッグ

変更概要	9-2
取り扱いおよび作業上の注意	9-2
取り扱いおよび作業上の注意	9-2
部品配置図	9-2
ステアリングホイールパッド	
(エアバッグ)...	9-3
準備品	9-3
ステアリングホイールパッド	9-3
脱着構成図	9-3
ステアリングホイールパッド取りはずし	9-3
ステアリングホイールパッド点検	9-4
ステアリングホイール点検	9-4
ステアリングホイールパッド取り付け	9-4
ステアリングホイールパッド	
(エアバッグ) 廃却...	9-5
準備品	9-5
ステアリングホイールパッド廃却時の注意	9-5
ステアリングホイールパッド廃却	9-6

変更概要

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書/追補版 (品番62118, 1989年8月発行) の内容に以下の項目を追加しました。

1 SRSエアバッグの修理要領

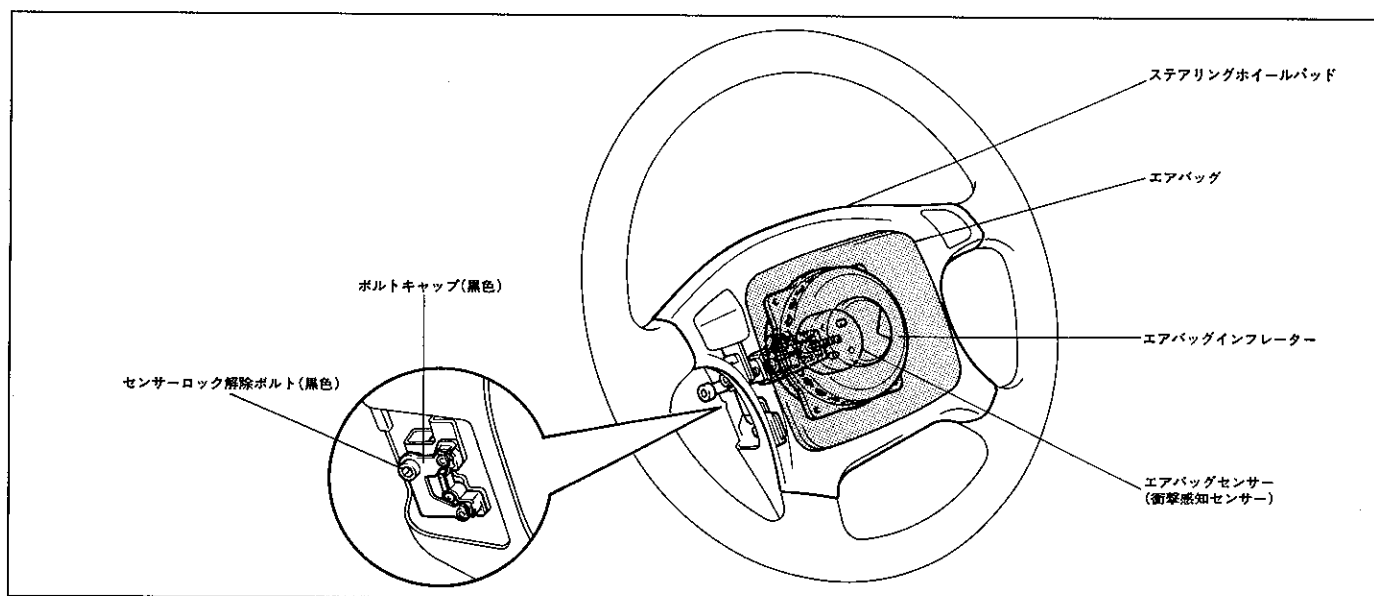
取り扱いおよび作業上の注意

エアバッグシステムは、正しい手順、方法で作業を行わないと、作業中に誤作動するおそれがあります。また、間違った作業を行った結果、必要なときに作動しないおそれがあります。エアバッグシステムの脱着、点検、交換などを行う場合は、本書に記載された正しい手順、方法で作業を行ってください。

取り扱いおよび作業上の注意

- 1 ステアリングホイールパッドは、絶対に分解修理をしない。
- 2 ステアリングホイールパッドに、衝撃を与えたり磁気を近づけたりしない。
- 3 ステアリングホイールパッドを、高熱や火気にさらさない。
- 4 ステアリングホイールパッドにグリース、洗剤、オイル、水などを付着させない。
- 5 ステアリングホイールパッドを落下させない。また、落下させたステアリングホイールパッドは、絶対に使用しない。
- 6 ステアリングホイールおよびパッドを、他の車両には絶対に使用しない。
- 7 ステアリングホイールパッドを取りはずした場合は、平坦な安定した場所に保管する。また、パッド面（上面）を上にして置き、絶対に物を上に置かない。
- 8 車両に大きな衝撃が加わる作業を行う場合は、エアバッグの誤作動を防止するため、センサーロック解除ボルトを空転するまでゆるめ、衝撃感知センサーをロックさせてから作業を行う。
- 9 エアバッグが未展開の軽衝突時でも、必ずステアリングホイールパッドのパッド面（上面）およびエアバッグセンサー（衝撃感知センサー）部を点検し、へこみ、割れ、変形などが見られる場合は、新品と交換する。
- 10 車両またはステアリングホイールパッドを廃却する場合は、必ずエアバッグを展開させる。
- 11 エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは高温になっているため、廃却は展開後30分大気冷却してから行う。絶対に水などをかけない。

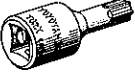
部品配置図



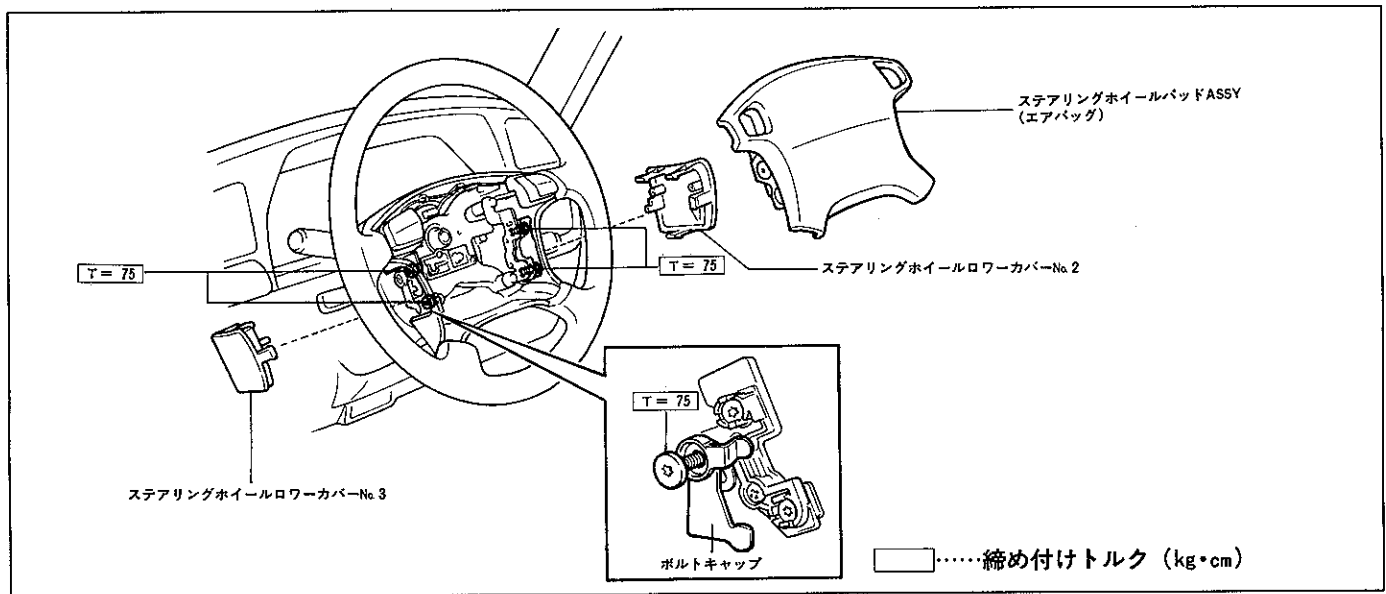
AD0253

ステアリングホイールパッド (エアバッグ)

準備品

工 具		09042-00010 トルクソケットレンチT30	ステアリングホイールパッド脱着用
-----	---	---------------------------	------------------

ステアリングホイールパッド 脱着構成図

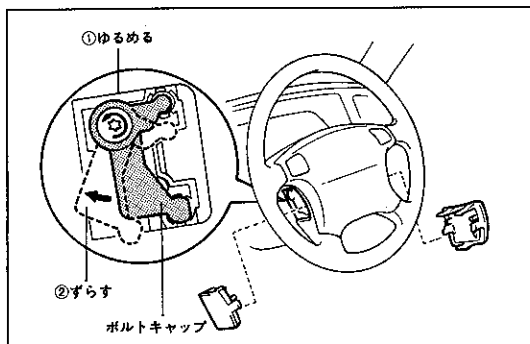


X6085

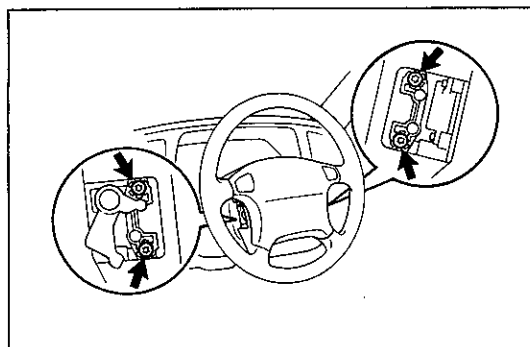
ステアリングホイールパッド取りはずし

1 ステアリングホイールパッド取りはずし

- (1) ステアリングホイールローカバー 2個を取りはずす。
- (2) トルクソケットレンチT30を使用して、センサーロック解除ボルトを空転するまでゆるめ、ボルトキャップをずらす。



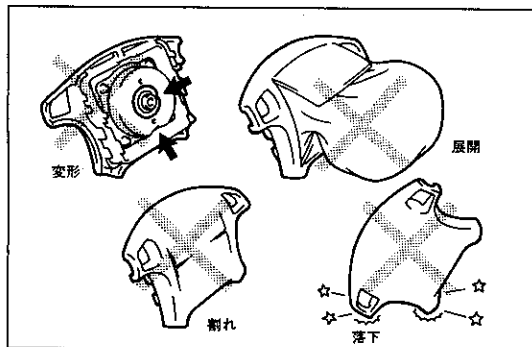
X6193



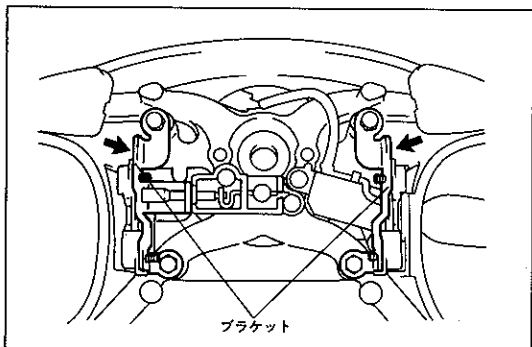
X6194

- (3) トルクソケットレンチT30を使用して、ステアリングホイールセットボルト4個を空転するまでゆるめる。
 <参考> セットボルトは、落下防止のため、樹脂製のツメにより保持されている。
- (4) ステアリングホイールパッドを手前に引き出して取りはずす。
注意 ステアリングホイールパッドは、必ず平坦な安定した場所に保管する。また、パッド面を上にして置き、絶対に物を上に置かない。

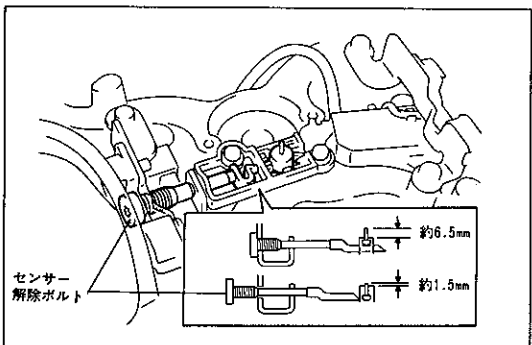
9



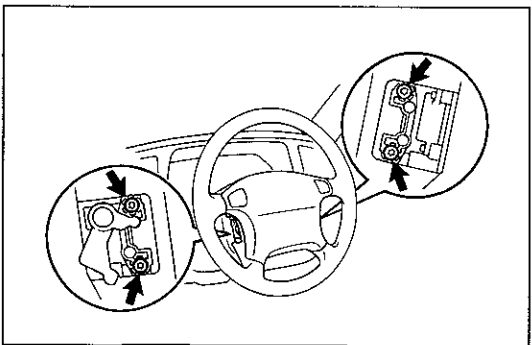
X1161



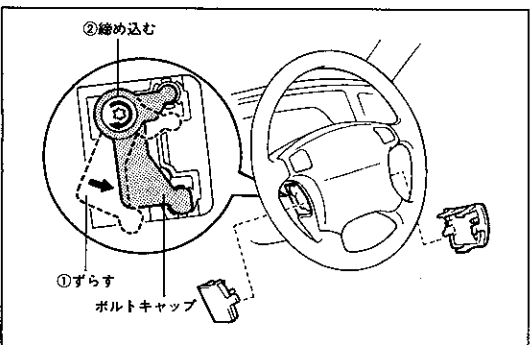
X0798



X0810



X6194



X6192

ステアリングホイールパッド点検

1 ステアリングホイールパッド外観点検

注意 パッドの分解は絶対に行わない。

- (1) 下記のような場合は、パッドを新品と交換する。
 - ① エアバッグが展開した場合。
 - ② パッド面、エアバッグセンサーおよびインフレーターにへこみ、割れ、変形が見られる場合。
 - ③ パッドを落下した場合。

ステアリングホイール点検

1 ステアリングホイール外観点検

- (1) 下記のような場合は、ステアリングホイールを新品と交換する。
 - ① ステアリングホイール金属ブラケット部が変形している場合。
 - ② 新品のパッドが容易に取り付けられない場合。

2 センサーロック解除機構点検

- (1) センサーロック解除ボルトをいっぱいまで締め込んだとき、センサーロック解除ピンが突き出し、空転するまでゆるめるとき、ピンが引っ込むことを点検する。また、ピンがスムーズに動くことを点検する。

ステアリングホイールパッド取り付け

- 注意**
- パッドASSYに損傷があったり、落下したものは、新品と交換する。
 - 他の車両のパッドは絶対に使用せず、部品交換時は必ず新品を使用する。

1 ステアリングホイールパッド取り付け

- (1) センサーロック解除ボルトが空転するまでゆるんでいることを確認する。
- (2) ステアリングホイールパッドを、ステアリングホイールにセットし、トルクスソケットレンチT30を使用して、ステアリングホイールセットボルト4本を締め付ける。

$T = 75 \pm 22 \text{ kg} \cdot \text{cm}$

注意 ホーンボタン用ワイヤハーネスを噛み込ませない。

- (3) ボルトキャップを、ステアリングホイールセットボルトに合わせセンサーロック解除ボルトを締め付ける。

$T = 75 \pm 22 \text{ kg} \cdot \text{cm}$

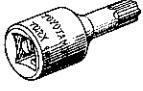
- (4) ステアリングホイールローワーカバー2個を取り付ける。

注意 カバーが確実に取り付けられていることを確認する。

ステアリングホイールパッド （エアバッグ）廃却

エアバッグシステムが搭載された車両を廃車する場合およびステアリングホイールパッドを廃却する場合は、必ずステアリングホイールパッド単体で、以下に記す手順に従ってエアバッグを展開させてから廃却してください。絶対に、未展開の状態での廃車およびステアリングホイールパッドを廃却しないでください。

準備品

工 具	 09042-00010 トルクソケットレンチT30	ステアリングホイールパッド取りはずし用
油 脂 その他	ボルト4本（首下長さ35mm以上、ピッチ1.0mm、呼び径6.0mm）	ステアリングホイールパッドつり下げ用
	ひも11m以上（滑らかで切れにくいもの）	ステアリングホイールパッドつり下げ用 タイヤ固定用
	タイヤ4本（タイヤ幅185mm、タイヤ内径14インチ程度）	エアバッグ展開用
	ホイール付きタイヤ1本（タイヤ幅185mm、タイヤ内径14インチ程度）	
	コッターピン（95381-02525）	センサーロック解除用
	ガムテープ	
	保護めがね	エアバッグ廃却用
	手袋	
ビニール袋		

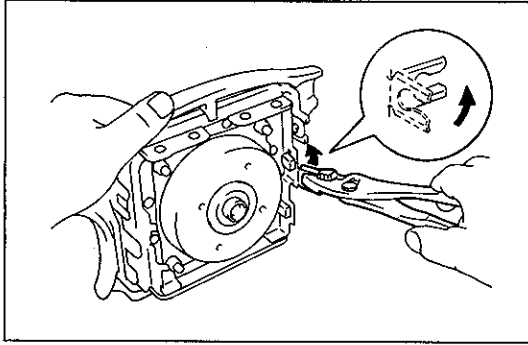
ステアリングホイールパッド廃却時の注意

- 1 エアバッグの展開作業は、屋外で、安全を確保できる、平坦なコンクリートの上で行う。
- 2 ステアリングホイールパッドを置く場合は、必ずパッド面を上にする。
- 3 エアバッグセンサー（衝撃感知センサー）のロック解除後は、細心の注意を払いステアリングホイールパッドを取り扱う。
- 4 エアバッグを展開させる場合は、必ず5m以上離れる。
- 5 エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは高温になっているため、展開後30分は大気冷却しておく。絶対に水などをかけない。
- 6 エアバッグが展開したステアリングホイールパッドを取り扱う場合は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 7 エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは、ビニール袋に入れて密封し廃却する。
- 8 作業終了後、必ず手を洗う。

9

ステアリングホイールパッド廃却

- 注意**
- エアバッグの展開作業は必ず屋外で安全の確保できるコンクリート上の平坦な場所で行う。
 - ステアリングホイールパッドを一時的にでも保管する場合は、必ずパッド面を上にして置く。
 - センサーロック解除後は細心の注意をはらいステアリングホイールパッドを取り扱う。



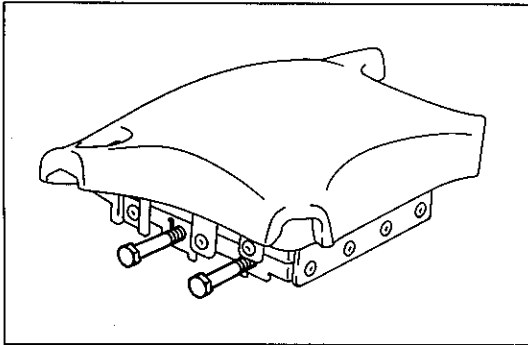
X1163

1 ステアリングホイールパッド取りはずし

(P9-3参照)

2 エアバッグ展開準備

- (1) ステアリングホイールパッド裏面のブラケットを90°折り曲げる。

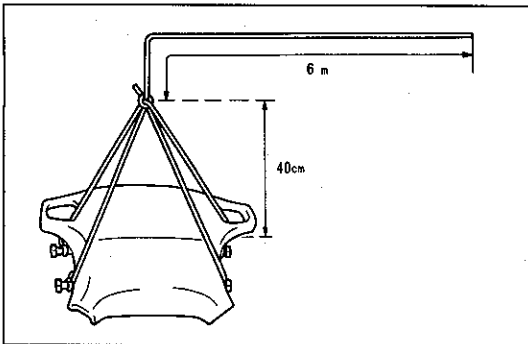


X0800

- (2) ステアリングホイールパッドの取り付け穴4個に、ボルトを約10mm締め込む。

〈参考〉 ボルトの寸法

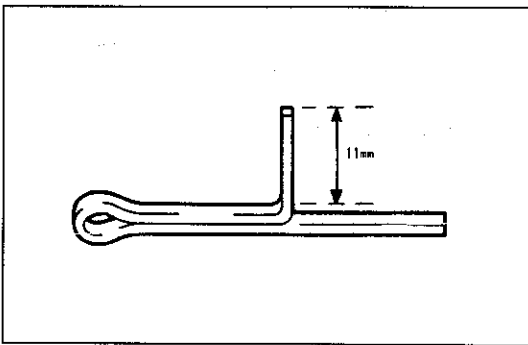
首下長さ35mm以上、ピッチ1.0mm、呼び径6.0mm



X0801

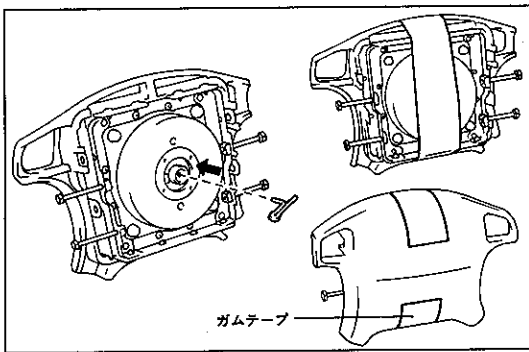
- (3) ステアリングホイールパッドが水平につるせるようにひもを結ぶ。

注意 上側のひもはホーンボタン穴を通す。



X0802

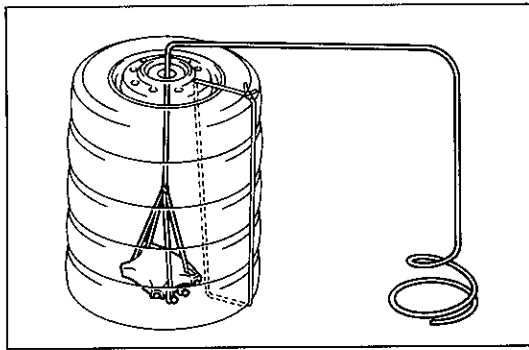
- (4) コッターピン (95381-02525) を使用して、エアバッグセンサー (衝撃感知センサー) のロック解除用ピンを作成する。



X6086

- (5) センサーのロック解除用ピンを、エアバッグセンサー（衝撃感知センサー）部に差し込み、ガムテープで固定して、パッド面を上に向けて地面に静かに置く。

注意 センサーのロック解除後は、高さ5 cmからの落下でもエアバッグが作動してパッドが飛び上がるため、パッドの取り扱いには細心の注意を払い、衝撃を与えたりしない。

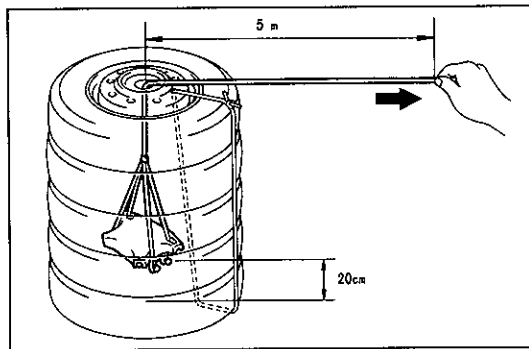


X0804

- (6) 図に示すように、タイヤ4本とホイール付きタイヤ1本でステアリングホイールパッドを囲いひもを通す。

注意 ・ステアリングホイールパッドには、絶対に衝撃を与えない。

・タイヤがずれないようにひもで固定する。

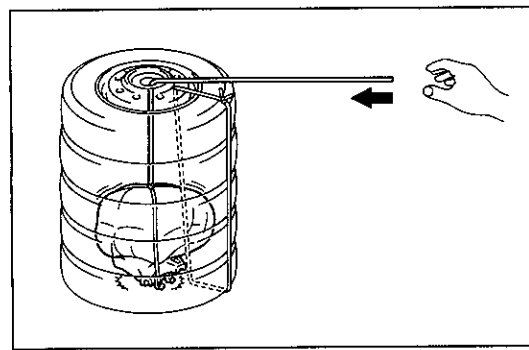


X0805

3 エアバッグ展開

- (1) ステアリングホイールパッドから5 m以上離れ、パッドを20 cm程度引き上げる。

注意 引き上げ前に再度周囲の安全を確認する。



X0806

- (2) ひもを離し、ステアリングホイールパッドに落下の衝撃を与えて展開させる。

注意 ・展開前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

・展開したステアリングホイールパッド内インフレーターは高温になっているため、展開後30分は大気冷却しておく。絶対に水などをかけない。

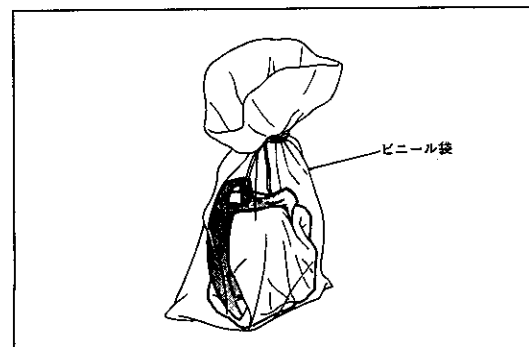
- (3) センサーのロック解除が不十分な場合や、パッドが水平につられていない場合は、エアバッグが展開しない場合がある。そのような場合は、パッドへの衝撃を避け、再度作業を最初からやり直す。

4 ステアリングホイールパッド廃却

- (1) エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは、ビニール袋に入れ密封して廃却する。

注意 ・保護めがねおよび手袋を着用する。

・作業終了後、必ず手を洗う。



X0807

MEMO